



環境医学研究所 病態神経科学分野

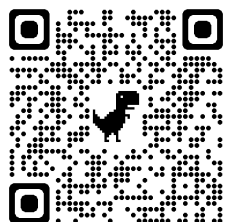
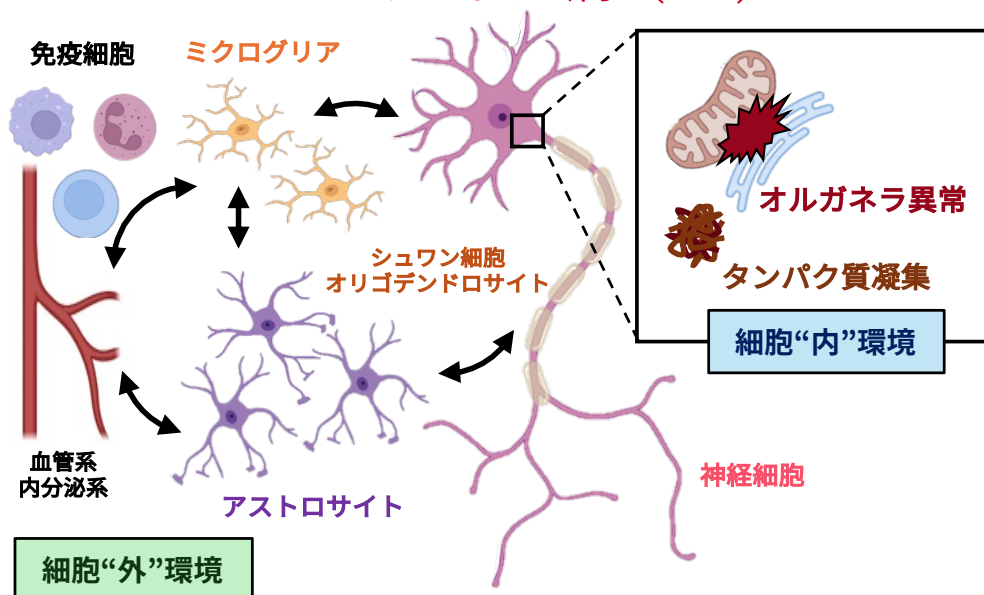
RIEM
Research Institute of Environmental Medicine
NAGOYA UNIVERSITY

(PI: 山中 宏二 教授)

本研究室のミッション

- 神経変性疾患の病態解明を通じて、神経系の生存戦略を解明する
- 新しい視点から神経変性疾患の治療法開発を目指す

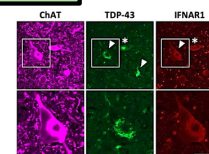
研究対象: 筋萎縮性側索硬化症 (ALS)
アルツハイマー病 (AD)



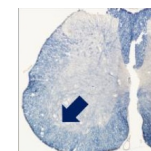
教員8名 (医3, 理工3, 薬1, 農1)
若手研究員1名 (薬)
大学院生3名【修士・博士 (薬, 理工)】
学部生2名 (医)

大学院生による研究成果

【ALS】TBK1-IFN β -免疫プロテアソーム軸の障害がTDP-43病態発症に寄与
(Sakai et al. bioRxiv, 2025)



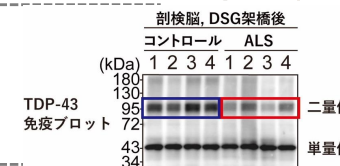
【ALS】TDP-43過剰発現がオリゴデンドロサイトの機能異常を誘発
(Horiuchi et al. Acta Neuropathol Commun, 2024)



【ALS】イヌのALS様疾患：DMでの変異SOD1凝集機序の解明
(Hashimoto et al. J Biol Chem., 2023)



【ALS】TDP-43単量体化が早期病態解明の鍵となる
(Oiwa et al. Science Advances, 2023)



【AD】男性ホルモンの枯渇が神経炎症を調節
(Maekawa et al. Sci Rep., 2025)

【AD】Nrf2を薬理的に活性化すると認知機能と神経炎症が改善
(Wang et al. J Neuroinflamm, 2024)

